

あすなる便り H23年7月号



織姫と彦星は今年も会えなかったようですが、梅雨もようやく明け夏空が眩しく感じられる頃となりました。

利用者の方々もそれぞれの願いを短冊を書き、七夕飾りを完成させました。皆さんの願いが届きますように…。

カラフルな衣装を身にまとっているのは、ケーナのボランティア「グループ・マルテス」の方々です。

ケーナは、インカ文明のころから伝わる南米ポリビアの縦笛です。

おなじみの『コンドルは飛んでいく』を始め、異国情緒たっぷりでありながら、どこか懐かしい曲目の数々。遠いアンデスの山々に思いを馳せながら(?)聞き入っていらっやいました。



茶ろん ひまわり
OPEN



7月1日より、茶ろんを開店しました。皆さんに親しんでいただけるように「ひまわり」と名づけました。

利用者同士、利用者のご家族あるいはスタッフとのコミュニケーションの場としてご利用いただければと願っています。

本物の喫茶店とまではいきませんが…音楽が流れ、コーヒーの香りが漂い、皆さんゆったりとくつろいでいらっやるようです。思わず笑顔やピースサインも。

これからもどうぞお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。





シルバーカレッジからは器楽合奏クラブの皆さんが来てくださいました。
フルート、オカリナ、ヴァイオリン、サクソなど多様な楽器による伴奏で、『青い山脈』『高校3年生』『ふるさと』など、一緒に大きな声で歌い、楽しいひとときを過ごすことができました。

巷では「たこパ」が流行とか。
「たこパ」って何？
そう、「たこ焼きパーティ」のことなんですよ。というわけで、あすなる旭でもやってみました。たこ焼きをひっくり返す手つきは、真剣そのもの、焼きあがるのが待ち遠しいですね。



あつあつのたこ焼きが完成しました。
お味の方もなかなか美味。
この「たこパ」、あすなる旭の名物行事になるかもしれません。

< あすなる庭園情報 >

先月のジャガイモ、タマネギに続いて、今月は大きなカボチャが実りました。
パンプキンスープ、カボチャのコロッケ、天ぷらに煮物、さあどんな風に料理しましょうか？

